

フォト句会 2024年3月度成績

開催日：3月12日（火）

時 間：15時30分～17時30分

出席者：7名

写真出題：大 越

付け句お題写真；
塩屋埼灯台と
美空ひばり歌碑
(出題；大越)



付け句「塩屋埼灯台と美空ひばり歌碑」

(出題;大越)

- 1) Ⅸ世代美空ひばりって誰なのさ 清水 勝
世代が離れすぎて話が通じない経験をするこの頃。
- 2) いわき盛る炭坑レディも救世主 安藤 晃二
炭坑から転身しフラダンスを踊った女性達の功績も。
- 3) ひばりさん塩屋岬で不死鳥へ 清水 勝
美空ひばりの名曲「みだれ髪」で歌われた塩屋岬。
- 4) 幾たびの被災に耐えて灯は消えず 長尾進一郎
戦災や地震で被害を受けるたびに復活した灯台。

自由題



温暖化作る間もなく
溶けてゆく（正二）



水温む見詰める先は
川の底（昌康）



撫牛の光の陰に病み潜む（勝）



継ぐ人のない別荘と蜜柑山（晃也）



春の園こころ静かに読書かな（進一郎）

自由題 寸評

- 1) 温暖化作る間もなく溶けてゆく 矢澤 正二
陽に溶ける雪だるまを題材に、温暖化へアラーム。
- 2) 水温む見詰める先は川の底 松田 昌康
川辺で獲物を狙う鷺を、シャープな画像で捉えた。
- 3) 撫牛の光の陰に病み潜む 清水 勝
撫でられて色が変わった牛から、病みを連想した。
- 4) 継ぐ人のない別荘と蜜柑山 中村 晃也
明るく暖かい風景だが、ここにも過疎が迫っている。
- 5) 春の園こころ静かに読書かな 長尾進一郎
静かな公園のベンチに、ひとり時を過ごす女性がいた。